

2010 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	准教授
氏名	緑川 晶		
NAME	MIDORIKAWA, Akira		

1. 研究課題

(和文) 認知症高齢者の残存機能に着目したケアプログラムの開発

(英文) The development of caregivers program based on residual abilities of demented person

2. 研究期間

2010 年度～2011 年度

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

〔背景と目的〕 認知症患者の症状の進展とともに“できないこと”が増え、家族がそのことを認識することは、ケアする側の家族の心理状態の悪化を招くだけでなく、ケアされる側の患者本人にも悪影響を与えることが知られている。しかし同じように症状が進展した状態であっても、家族によっては患者の肯定的な側面に目を向け、本人・家族双方の心理状態の悪化を防げる事例が散見される。そこで、積極的に患者の肯定的な側面（残存機能）を見出すことにより、家族の心理状態にどのような影響を与えるのかを明らかにすることを究極的な目的とし、本研究では認知症患者にどのような機能が残されているのか明らかにすることを直接的な目的とする。

〔研究計画・内容および研究成果〕 本研究では、認知症の中でも特にケアが難しいとされる前頭側頭葉変性症 (fronto-temporal lobar degeneration : FTLT) の患者の残存機能を探索的に探ることとした。その結果、中等度の意味性認知症 (semantic dementia : SD) の患者では、計数能力の残存能力が確認され、中等度の前頭側頭型認知症 (fronto-temporal dementia : bv-FTD) では把握反射を利用した指相撲などにより、双方向性のコミュニケーションが可能であることが確認された。さらに重度の bv-FTD では、実験心理学的に顔の認知機能が保たれることが確認された。

(英文)

This study finds out following residual abilities of patients with fronto-temporal lobar degeneration (FTLT); the counting ability of a patient with semantic dementia (SD), thumb wrestling of a patient with behavioral variant fronto-temporal dementia (bv-FTD), and the face perception ability of severe bv-FTD patient.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

<p>【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)</p>
<p>緑川 晶：発達と変性—個体発達や発達障害を通じた認知症の理解—。神経心理学 (査読なし), 27, 143-152, 2011</p>
<p>緑川 晶：認知症。総合リハビリテーション (査読なし), 38, 745-748, 2010</p>
<p>緑川 晶：Posterior cortical atrophy の概念と症候。BRAIN and NERVE (査読なし), 62, 727-735, 2010</p>
<p>Midorikawa, A., Kawamura, M.: The relationship between subclinical Asperger syndrome and frontotemporal lobar degeneration. Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra (査読あり), (in press)</p>
<p>Sugimoto, A., Midorikawa, A., Koyama, S., Futamura, A., Hieda, S., Kawamura, M.: Picture agnosia as a characteristic of posterior cortical atrophy. European Neurology (査読あり) (in press)</p>
<p>【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)</p>
<p>緑川 晶, 川合圭成, 河村 満：卓越した計数能力を示した意味性認知症例。第 34 回関東臨床神経心理研究会, 東京, 2011 年 12 月</p>
<p>緑川 晶, 小山慎一, 井潤 知美, 鶴谷奈津子, 永井知代子：発達障害の生涯発達—幼児期から老年期まで—。第 75 回日本心理学会大会, 東京, 2011 年 9 月</p>
<p>緑川 晶, 河村 満：芸術性の発現が見られた頭部外傷例。第 33 回関東臨床神経心理研究会, 東京, 2011 年 6 月</p>
<p>Midorikawa, A., Kawamura, M.: The diagnosis of frontotemporal lobar degeneration (FTLD) may include patients with autism spectrum disorders (ASD). The International Neuropsychological Society, The Polish Neuropsychological Society and The Polish Neuroscience Society Joint Mid-Year Meeting, Poland, Jun 30 – July 3, 2010</p>
<p>【図 書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)</p>
<p>緑川 晶 (シリーズ総編集：辻省次, 専門編集：河村 満), 記憶の検査 (pp. 30-32) 認知症神経心理学的アプローチ, 2012 年</p>
<p>【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)</p>